

## コラム 積雪寒冷地における舗装技術検討委員会

「積雪寒冷地における舗装技術検討委員会」（主催：国土交通省北海道開発局）では、積雪寒冷地の舗装技術に関する 2 つのテーマについて取り組んでいます。寒地道路保全チームではこの検討委員会に委員として参画し、研究成果の普及に努めています。

### (1) 積雪寒冷地における低炭素アスファルト舗装の品質確保および普及について

加熱アスファルト混合物の混合温度を 30℃ 程度低下させることにより、二酸化炭素排出量を削減できる中温化舗装技術の適用を検討しています。

寒地道路保全チームでは、中温化舗装技術の二酸化炭素排出量の削減効果、品質管理データ、および施工時の温度管理データ等を取りまとめた研究成果を検討委員会に提供し、活用されています。検討委員会では委員として中温化舗装技術に関して技術的な助言を行っています。

### (2) 北海道の高規格幹線道路等の舗装構成について

高規格幹線道路において、長く供用された排水性舗装の区間の多くでタイヤ走行部、橋梁ジョイント接続部等にポットホール、ひび割れ、骨材飛散などの破損が多数発生し、走行性の機能が低下している状況にあります。検討委員会では高規格幹線道路に必要な安全性能を確保しながらも、冬期の除雪や路面管理に対する影響を受けにくいなど維持管理コストの低減が可能となる耐久性の高い表層混合物の検討を行っています。

寒地道路保全チームでは、高規格幹線道路用表層混合物の室内試験結果等の研究成果を検討委員会に提供し、活用されています。検討委員会では委員として高規格幹線道路用表層混合物に関して技術的な助言を行っています。



写真-1 積雪寒冷地における舗装技術検討委員会の状況



写真-2 中温化混合物の温度測定状況